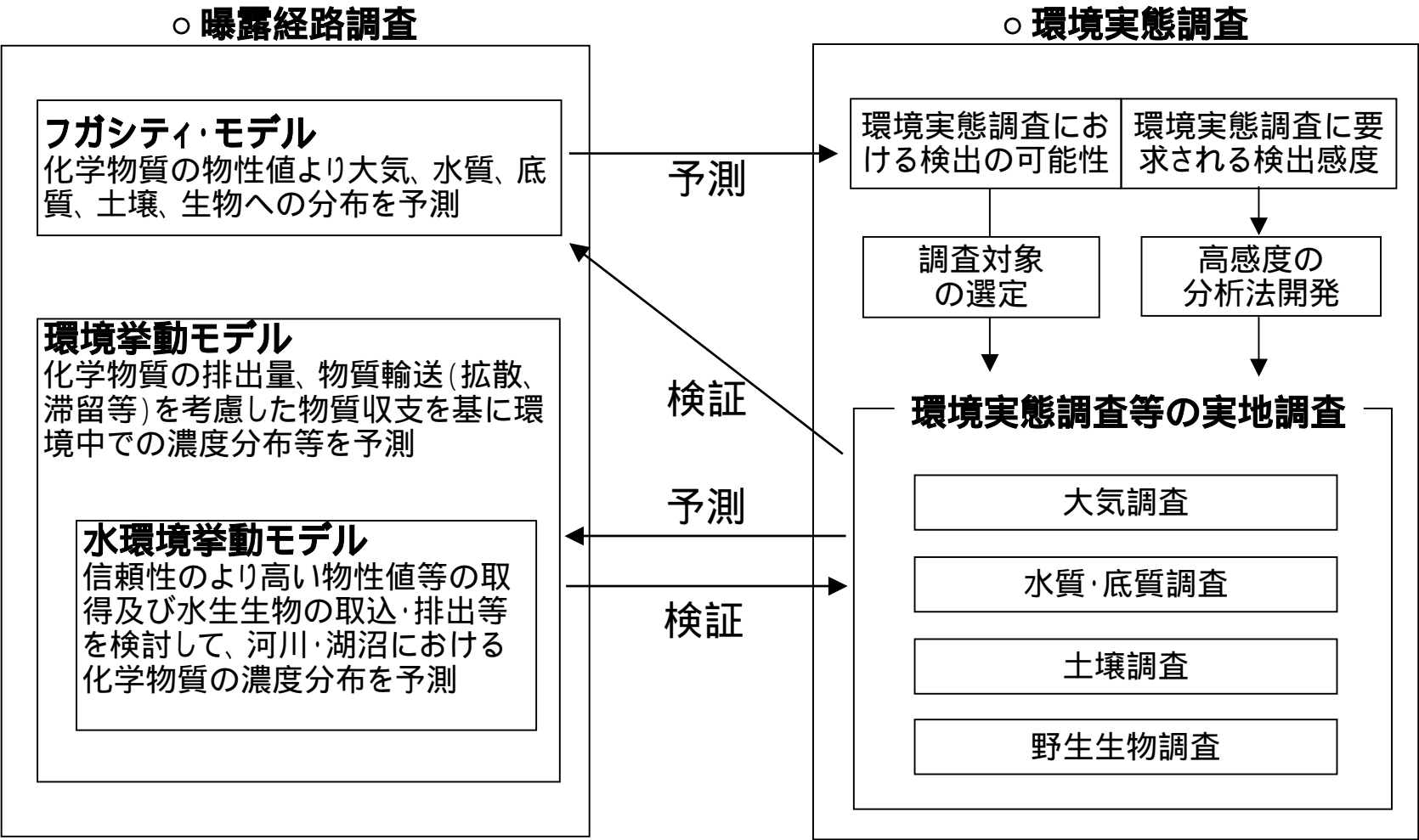


曝露経路調査と環境実態調査の関係について(概念)



平成13年度内分泌攪乱化学物質に係る環境実態調査結果の概要

媒体種類		水質	底質	大気	野生生物
測定数	地点数(延べ)	171	48	22	54(検体)
	物質数	20	20	3	21
検出物質数		13	12	1	19

調査物質名	水質	底質	大気	野生生物
ダイオキシン類	-	-	-	○
ポリ塩化ビフェニール(PCB)	○	○	-	○
ポリ臭化ビフェニール類(PBB)	×	×	-	-
ヘキサクロロベンゼン(HCB)	-	-	-	○
ペンタクロロフェノール(PCP)	-	-	-	○
ヘキサクロロシクロヘキサン	-	-	-	○
クロルデン	-	-	-	○
オキシクロルデン	-	-	-	○
trans-ノナクロル	-	-	-	○
DDT	-	-	-	○
DDE及びDDD	-	-	-	○
ディルドリン	-	-	-	×
ヘプタクロルエポキシサイド	-	-	-	○
トリブチルスズ	○	○	×	○
トリフェニルスズ	○	○	×	○
トリフルラリン	-	-	-	×
アルキルフェノール(C5～C9)	○	○	○	○
ビスフェノールA	○	○	-	○
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	○	○	-	○
フタル酸ブチルベンジル	○	○	-	-
フタル酸ジ-n-ブチル	○	○	-	○
フタル酸ジシクロヘキシル	×	×	-	-
フタル酸ジエチル	○	×	-	-
ベンゾ(a)ピレン	×	○	-	-
2,4-ジクロロフェノール	○	×	-	○
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	○	○	-	-
ベンゾフェノン	○	○	-	○
4-ニトロトルエン	○	○	-	-
オクタクロロスチレン	×	×	-	-
フタル酸ジペンチル	×	×	-	-
フタル酸ジヘキシル	×	×	-	-
フタル酸ジプロピル	×	×	-	-

○は検出された物質、×は未検出の物質、-は調査対象外物質を表す。